

中国陸軍ニュース：中国がスーダンの装甲車生産を支援

漢和防務評論 20170705(抄訳)

阿部信行

(訳者コメント)

前便に続き、国際武器展示会(於：UAE)での取材に基づく記事です。
中国は、スーダンの天然資源獲得をねらって、同国に武器生産のライセンスを提供しています。
6×6 輪装甲車については、アフリカの他地区に輸出した車両の修理をスーダンの兵器産業に委託しているようです。
この装甲車は主として PKO 用ですが、国連の補助金の対象となっており、アフリカ諸国は好んで中国製のこの装甲車を購入しているとか。
ひょっとして日本の国連分担金が中国製兵器の購入に使われているのではないのでしょうか。

中国は、スーダンに対し、GPS 誘導爆弾、FN-6 地対空ミサイル、HJ-8E 対戦車ミサイルを含む多くの軍事技術を移転している。スーダン製のこれらの兵器は輸出することも可能である。

KDR 平可夫アブダビ特電：

スーダン及びアンゴラ等アフリカ国家は、中国 NORINCO 製の WMA-301 型 105MM 突撃砲を装備している。このほかその変形である WMZ-551 は、ナイジェリア、ザンビア、チャド、カメルーン、ケニア、タンザニア等、約 10 ヶ国が導入した。この装甲車は、アフリカの国家が最も多く装備する 6×6 輪装甲車である可能性がある。

ジブチが中国に初めて中国海軍補給基地を提供したのは、現地の PKO 部隊が使用する装甲車を含め、主に中国から無償軍事援助を受けたことが背景にある。

スーダンの MILITARY INDUSTRY CORP (MIC) の消息筋は、KDR に対し次のように述べた：過去 2 年間で、スーダンは WMZ-551 の国産化を基本的に実現し、中国製装甲車の高い修理能力を具備した。スーダンは、中国のために現地において、アフリカ国家が装備する WMZ-551 を修理する。

また北アフリカの消息筋は、KDR に対し次のように述べた：アフリカ国家は、大量の WMZ-551/WMZ-301 を購入した。それは、主として PKO のためであり、しかも経費は国連が支給する。支給する額は、装輪装甲車の型式で異なる。6×6 輪車は最も高く、4×4 輪車は最も安い。したがってアフリカ国家は、好んで中国の 6 輪車 WMZ-551 を使っている、と。

このほか、スーダン MIC は、中国からライセンスを取得し、FN-6 型肩打ち式地対空ミサイル(スーダンでの名称は NAYZAK)を生産している。敵味方識別装置、発射筒、ミサイル本体は中国から輸入し、その後組み立てる。2016 年には基本的な国産化を実現した。スーダンは NAYZAK の輸出を希望している。

FN-6 は、スーダン、ミャンマー、パキスタンを含む多くの国家に輸出されている。スーダン MIC は、創造性に富む企業である。FN-6 を改良し、空対地無誘導ロケットを開発した。射程 5000M、初速 300M/SEC である。MI-24 型武装ヘリが改良後の FN-6 対地ロケットを携行している。

スーダンは、中国製の 63 型多連装ロケット砲を保有している。口径 107MM。これも空対地ロケットに改装し、MI-24 武装ヘリに装備した。

スーダンは、過去 2 年間で、NORINCO が提供した HJ-8E 対戦車ミサイルの国産化を実現した。現在、ミサイル、軽型発射器等の組立ができる。設計師は KDR に対し次のように述べた：スーダンは、2 種類の HJ-8 を保有している。E 型の射程は 4000M である。HJ-8H 型は射程が 5.5KM に増加した。消息筋は、これらの兵器が実戦で使われている、と述べた。スーダンは、中国の支援の下、南アフリカを除き、アフリカで最強の軍事工業国家になった。一部の技術は、エジプトを超えている。

スーダンは、すでに中国の重要なエネルギー投資国となっている。中国は、ひたすらスーダンの天然資源に投資している。また中国は、スーダンに原子力発電所を建設しようとしている。中国製の無人機、多連装ロケット、装甲車は、中東の湾岸諸国、及び北アフリカ、エジプト地区に広く分布し始めた。

以上